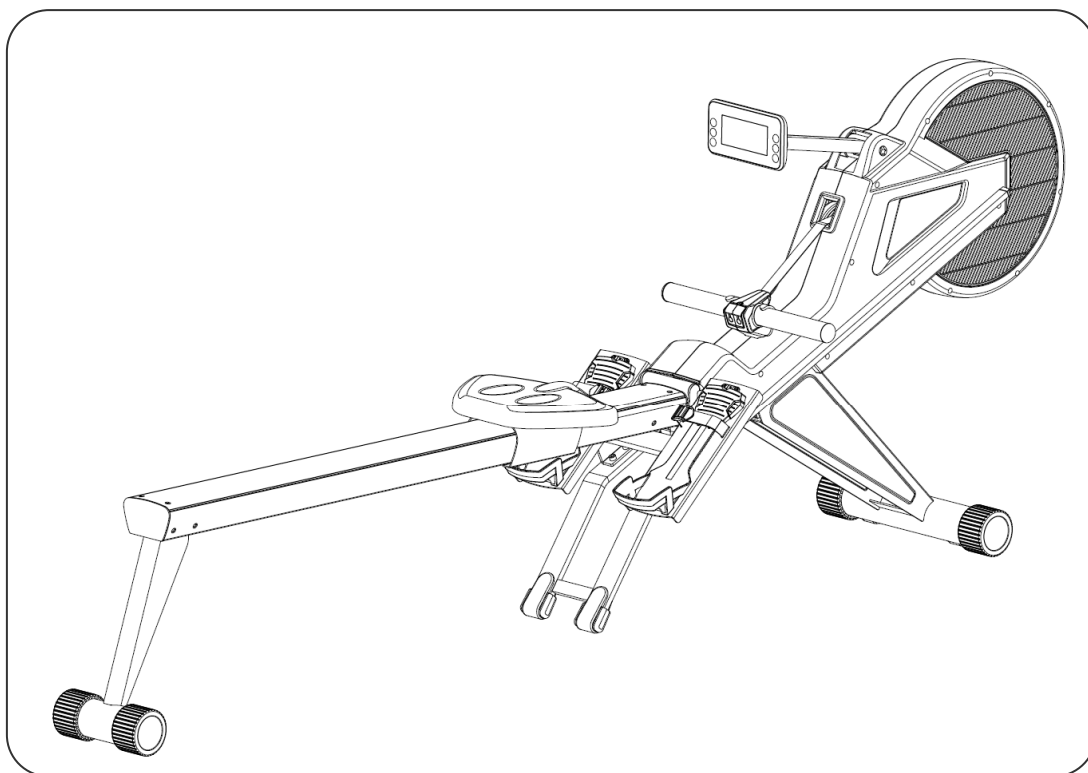


SPORTOP

FUJIMORI

HYBRID ROWING FR-700Plus

取扱説明書



この度は本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
正しくお使いいただくために、ご使用前には必ずこの説明書をお読み下さい。
取扱説明書はお読みになったあとも大切に保管してください。

在日外国人の方はこの取扱説明書を通訳できる方から説明を受けてください。

For your safety and comfort. If you are alien who live in Japan, please ask someone who understand this manual to make detailed explanation for you.

もくじ

「安全におつかいいただくために」はご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

はじめに

安全におつかいいただくために	1~7
部品一覧表	8
組立方法	9~11

使用方法について

電源・折りたたみについて	12
移動・表示パネルの角度調整方法について	13
スライド調整・リモコン電池交換について	14
負荷レベル調整・脈拍測定について	15
モード設定方法について	16~21
トレーニングについて	22

トラブルシューティング

トラブルが起きたら・製品仕様について	23
--------------------	----



その他

保証書




安全におつかいいただくために

この度はローイング FR-700Plus をお買い求めいただきありがとうございました。

- ご使用前にこの「安全におつかいいただくために」をよくお読みになり、この製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

図記号の例

	禁止の行為であることを告げるものです。
	警告、注意を促す内容があることを告げるものです。具体的な内容を近くに文章で示します。
	行為を強制したり指示したりする内容があることを告げるものです。

健康を害することを防ぐための注意事項

警告

- 本機は、健康維持・増進を目的とした製品であり、事前に医師に相談する必要がある場合、また身体に病気や障害のある方はトレーニングを始める前に必ず専門の医師にご相談してから使用してください。特に次の病気のある方は、必ず医師にご相談ください。心臓病（狭心症・心筋梗塞など）、高血圧症（降圧剤を服用中の方など）、糖尿病、呼吸器疾患（ぜんそく・慢性気管支炎など）、変形性関節リウマチ、痛風など

注意

- ご年配の方や運動習慣のない方がご使用になる場合は、念のため専門の医師、またはスポーツトレーナーにご相談ください。
- 本機をリハビリテーションの目的に使用される場合は、危険防止のため必ず監督者の下で使用してください。
- ご使用前には、十分なストレッチやウォーミングアップを行って下さい。

お子様の事故や怪我を防ぐための注意事項

警告

- お子様は遊具として使用しないよう保護者の責任で注意してください。

注意

- 本機を使用している時にお子様を本機に近づけないでください。

設置上の注意事項

警告

- 防爆については、特に考慮して設計されていませんので、可燃性ガス等の発生する恐れのある環境での使用は、引火、火災、爆発の恐れがあるのでお止めください。
- 本機の改造は絶対にお止めください。

注意

- 本機は屋内での使用に限定し、屋外での使用はしないでください。また、水のかからない場所に設置・保管し、熱器具の近くや浴室の脱衣所等の湿気の多い場所への設置は避けてください。
さびが発生する恐れがありますので、注意してください。
- 湿度が多い、風通しが悪い、直射日光の当たる場所は避け、ほこり、塩分、硫黄分などにより、悪影響の生じる恐れのない場所に設置・保管してください。
- 平坦な床面に安定した状態で設置し、十分に動けるスペースをとって使用してください。
- 使用者がトレーニング中に他の器具等に触れないような場所、また運動動作領域を十分確保できる水平な床面上に設置してください。
- 本体の設置部のガタつきや、ハンドルとの接合部に異常がないか、固定ノブ等の緩みがないかを確認してください。
- 電氣的な各接続部は、確実に接続されており、濡れたり、燃えやすい物が近くにあることを確認してください。
- 本機には重い部品や、鋭利な部分がありますので、成人が組み立ててください。組み立ての際には軍手等を着用してください。
- コード類を取り外す際は正しく持って取り外してください。

保管上の注意事項



(保管方法及び保管上の注意)

- 保管時は別の用途には使用しない様、特に子供が使用しないよう注意してください。
- 屋外や湿気の高いところへの保管は、さびの発生、電気部品等の不具合の原因となるため、避けて下さい。また、直射日光や高温の場所に保管しないでください。
- 本機の安全を維持するために日常点検や定期点検を実施してください。
- メンテナンス等で、カバーを外す場合は販売店にご相談ください。

(お手入れ上の注意)

- 汚れや使用後についた汗等は、石鹼水を含ませよく絞った布で拭き、その後乾いた布で拭いて下さい。
- 水をかけたり、シンナー・ベンジンなどで拭いたりしないで下さい。
- 油の塗布及び注油は行わないでください。

使用上の注意事項

警告

- トレーニングの際は運動に適したシューズ、ウェアを着用してください。回転、駆動部に巻き込まれる恐れがあるため、ひも類のない服装としてください。
- 操作者および使用者は、手や足、髪、装飾類衣服などをマシンの可動部分に近づけないでください。巻き込まれたり、挟まれたりする恐れがあります。
- トレーニング中に、目まいや吐き気、その他身体に変調を感じたら、ただちに使用を中止してください。

注意

- ご使用前に各部のボルト・ナットが完全に固定されているか、ゆるみやガタつきがないか確認してください。
- このマシンの使用体重制限は120kg以下です。
- 用途（所定の使用方法）以外の使用を行わないで下さい。
- 同時に2人以上での使用、後ろ向きでの使用、自分のレベルを超えた運動、飛び乗り、飛び降りは絶対にしないでください。
- ご使用の前に必ず本機の状況をチェックしてください。
- 本機、および他の器具等に使用者が触れることがないように注意してください。
- 本機の上に絡みやすいものを置いたり、操作パネルやハンドルバーにタオル等を掛けたりしてのご使用は、本体に巻き込まれる危険がありますのでお止め下さい。
- 乗降する場合等に、ハンドルにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品や使用者を押ししたり引いたりすると、安定性を損なうおそれがあるため、注意してください。
- 不具合が生じた場合には、ご購入元の販売店又は弊社に連絡し対処方法を確認してください。

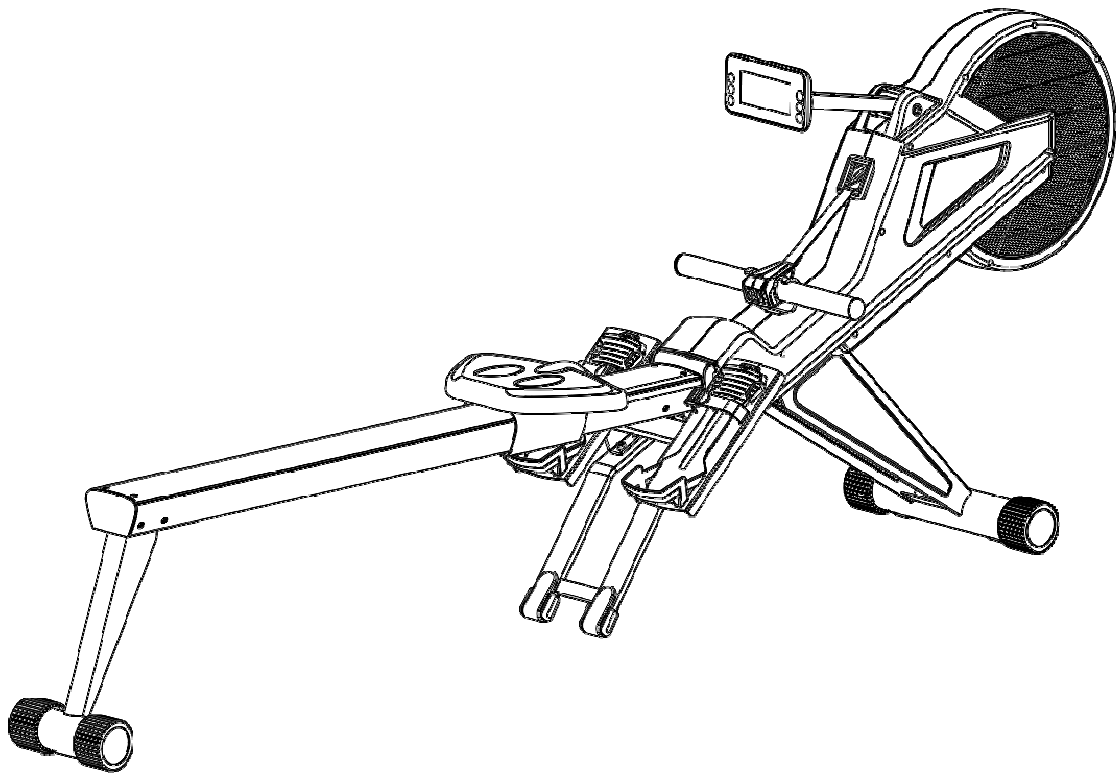
警告

本機をリハビリテーションの目的に使用する場合、危険防止のため、必ず監督者の下で使用してください。

本機の走行動作中は事故防止のため、監督者以外を本機に近づけないでください。

警告

手や足、物が巻き込まれる危険がありますので、作動中は回転部に近づかないでください。



◎設置場所について

(1) 本機の設置場所は使用者の安全を確保するために十分に広い場所を選びましょう。

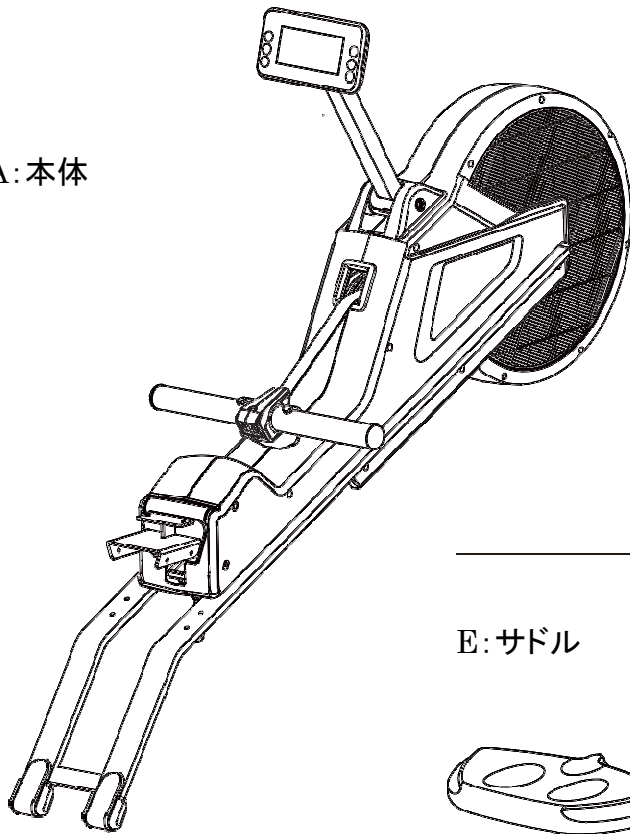
なお、本機は液体の進入や可燃性ガスに対する防爆を考慮しておりませんので水のかからない、また可燃性物質のない場所で使用してください。

また環境条件として、室温、および湿度は四季を通じて、できる限り一定に保つようになっています。

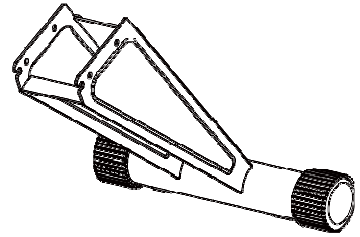
(2) 本機は重量がありますので、荷重に耐えうる水平な床面に設置してください。設置条件が悪い場合には共振による騒音、および振動等が発生したりしますので注意してください。

部品一覧表

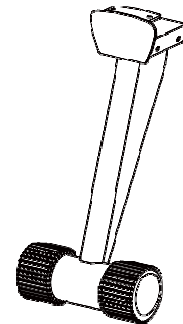
A: 本体



B: フロントスタンド



C: リアスタンド

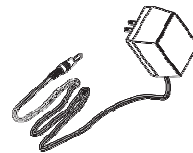


E: サドル

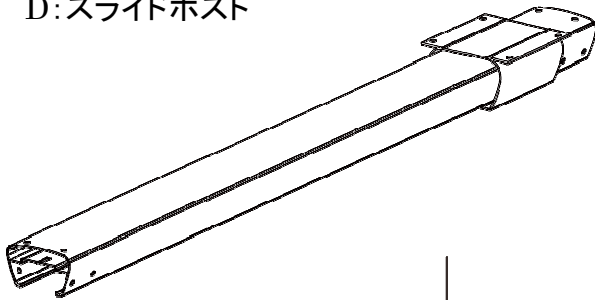


K: AC アダプター

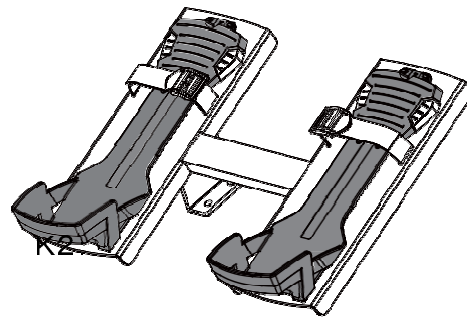
L: チェストベルト



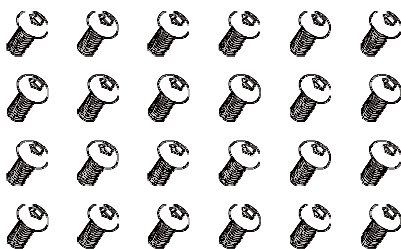
D: スライドポスト



G: ペダル



J1: ボルト(M8*16mm × 24PCS)

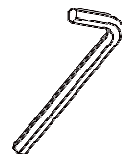


J2: ワッシャー(M8 × 4PCS)



組立工具

アーレンキー(5mm)



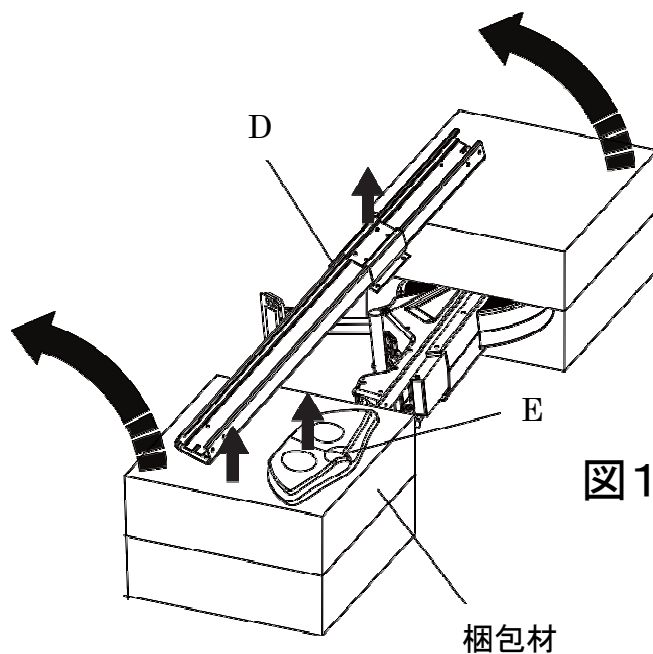
組立方法（1）

※組立をする前に全ての部品が入っているか、ご確認ください。

（手順1）

箱から出します

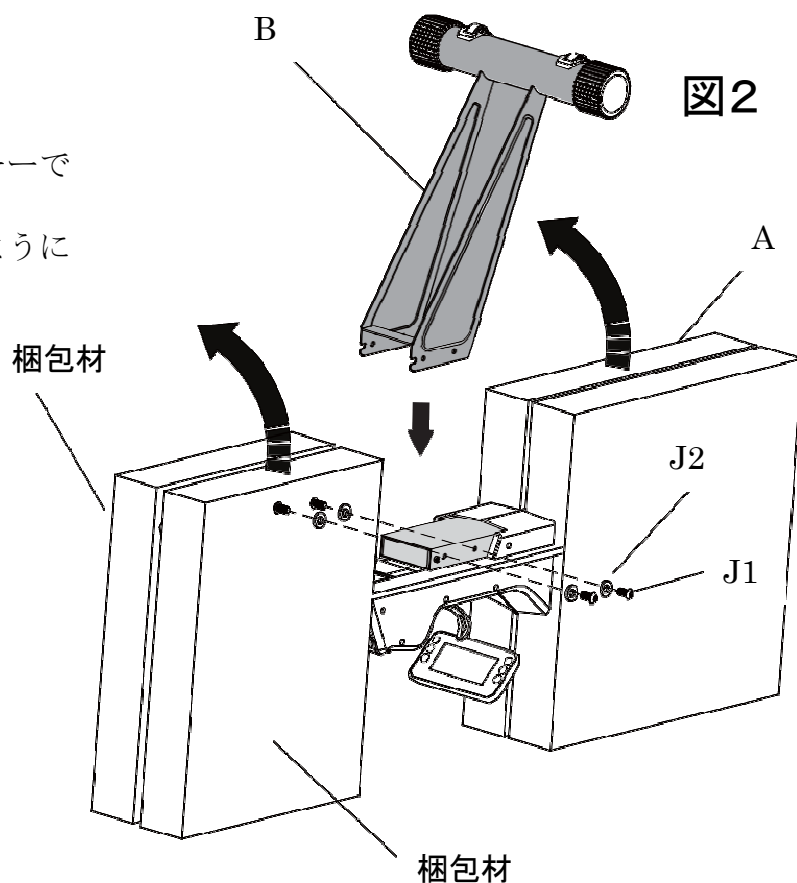
- ① 箱を開け図1のように箱から取り出します。次に梱包材をはずし部品を取り出します。梱包材を付け直し図1の大矢印のように起こします。



（手順2）

フロントスタンドを取り付けます

- ① フロントスタンドを本体に取り付けます。ボルト(J1)とワッシャー(J2)をアーレンキーで4ヶ所を締め付けます。
- ② フロントスタンドを取り付けたら図3のように本体を立ててください
※この作業は二人で行ってください。



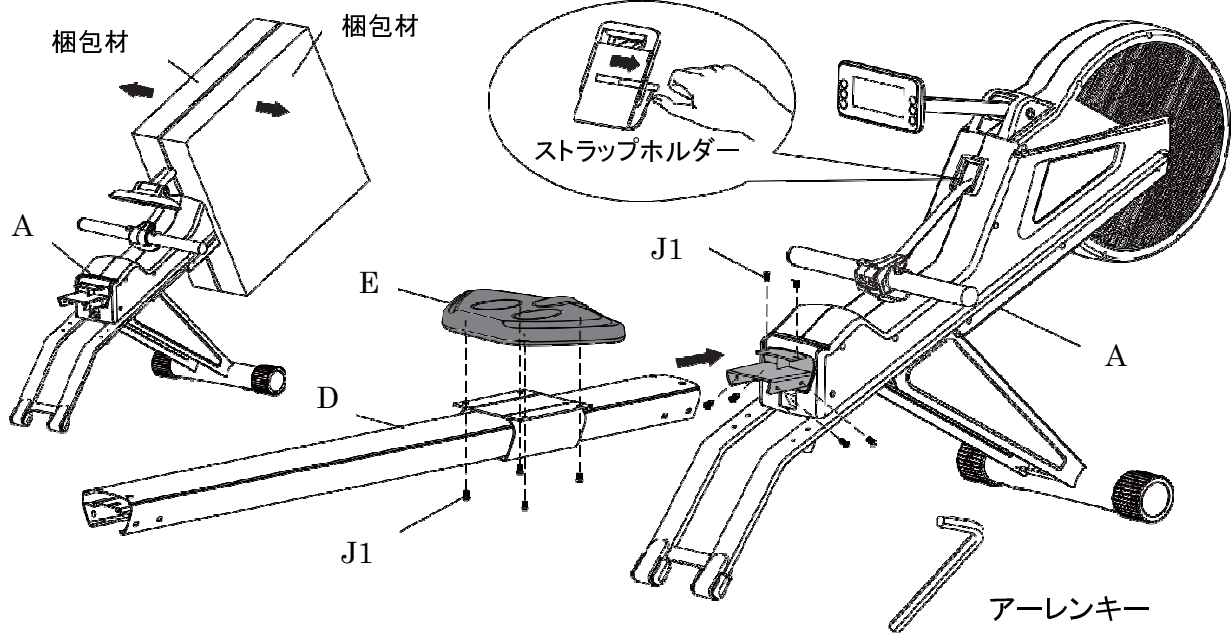
組立方法（2）

（手順3）

サドルとスライドポストを取り付けます

- ① 本体を図3のように立てたら、残りの梱包材をはずします。
- ② サドル(E)をスライドポスト(D)にボルト(J1) 4本で締め付けます。
- ③ スライドポストを本体に差し込みボルト(J1) 6本で締め付けます。

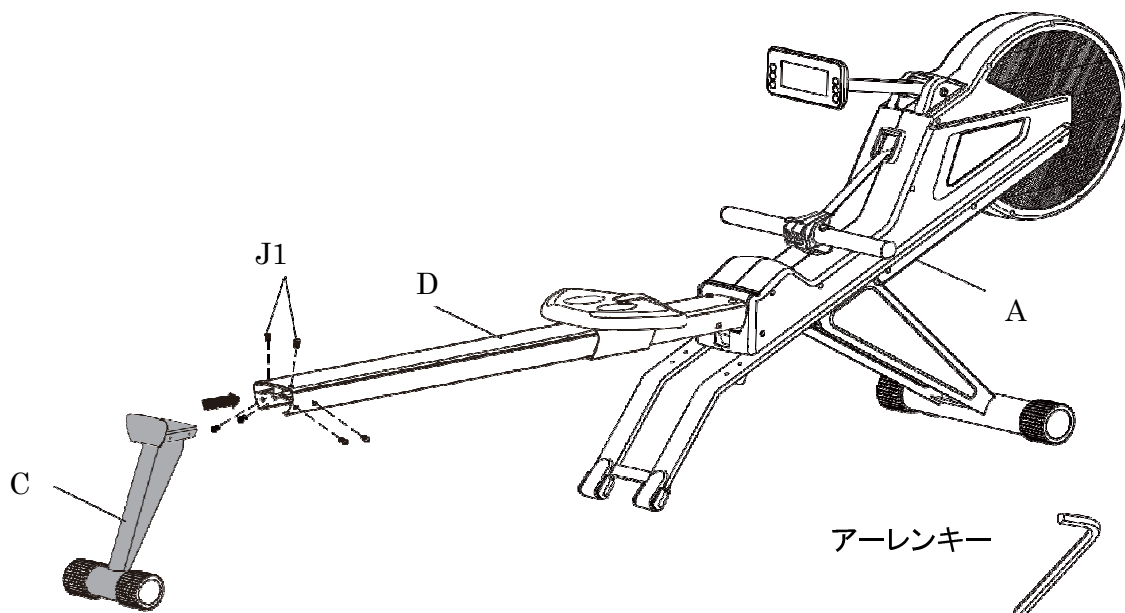
※運動前にストラップホルダーをはずしてから使用してください。



（手順4）

リアスタンドを取り付けます

- ① スライドポストを持ち上げながらリアスタンドを差し込み、ボルト(J1)で6ヶ所締め付けます。

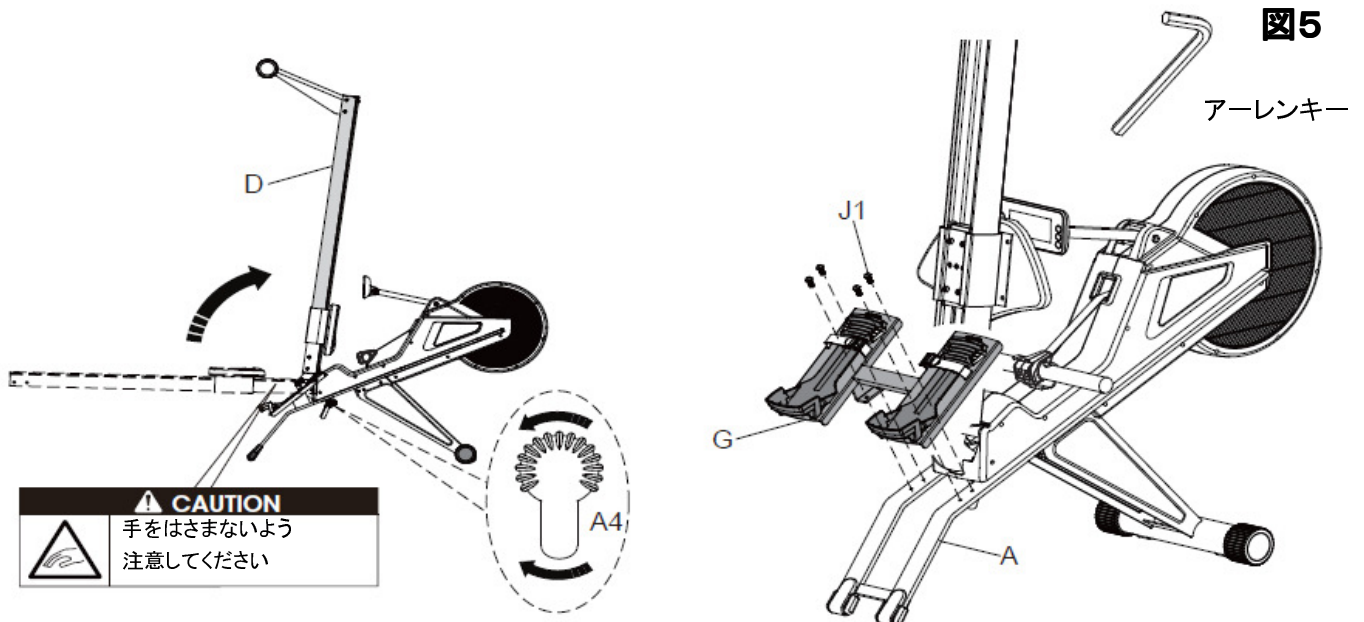


組立方法 (3)

(手順5)

ペダルを取り付けます

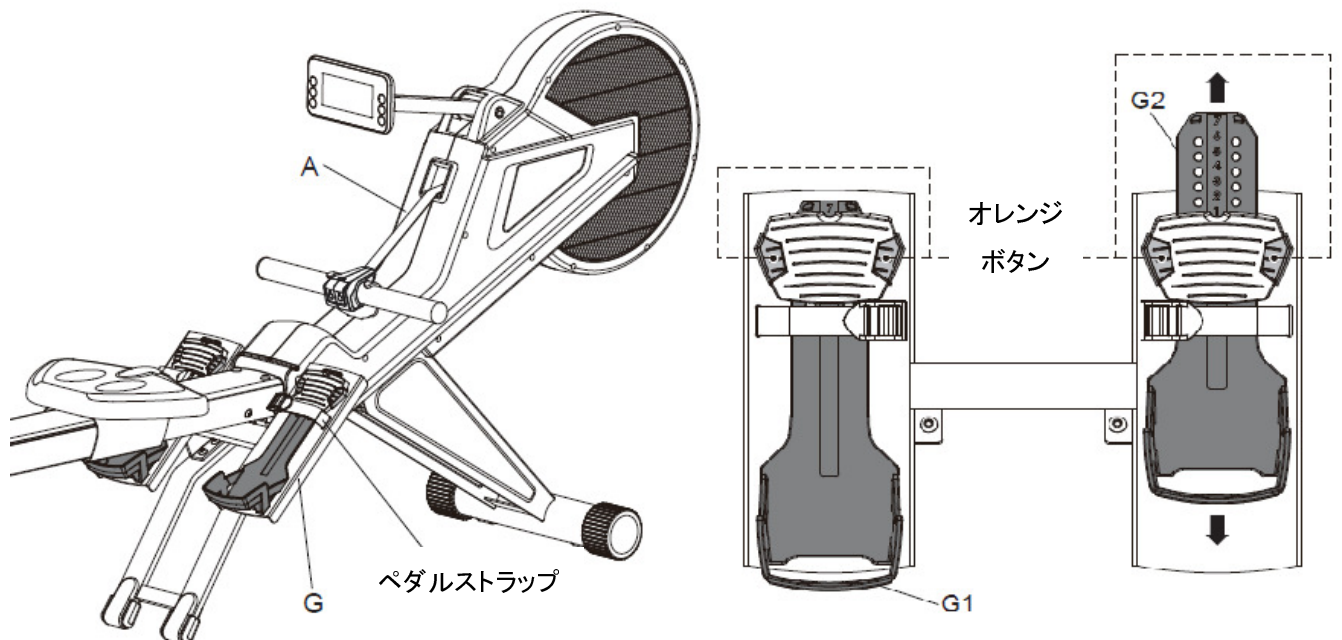
- ① 本体裏側にあるノブ(A4)を緩めてから引っ張り、スライドポストを図9の様に立ち上げノブを締めて固定します。
※本体・サドルで手をはさまないように注意してください。
- ② ペダル(G)を本体にボルト(J1)で4ヶ所締め付けます。
- ③ ノブを緩めスライドポストを元の位置に下ろし、ノブを締めて固定します。



(手順6)

ペダルを調整します

ペダルを調整したい時は、ペダルについているオレンジ色の2つのボタンを同時に押しながらスライドさせて調整してください。位置が決まったらオレンジ色のボタンを離しペダルを固定します。ペダルは7段階調整が可能です。もう片方のペダルも同じように調整します。運動する際にペダルストラップを締めて足を固定してください。



電源・折りたたみ方について

電源差し込み位置

ACアダプターの差し込み口は本体の前方にあります。

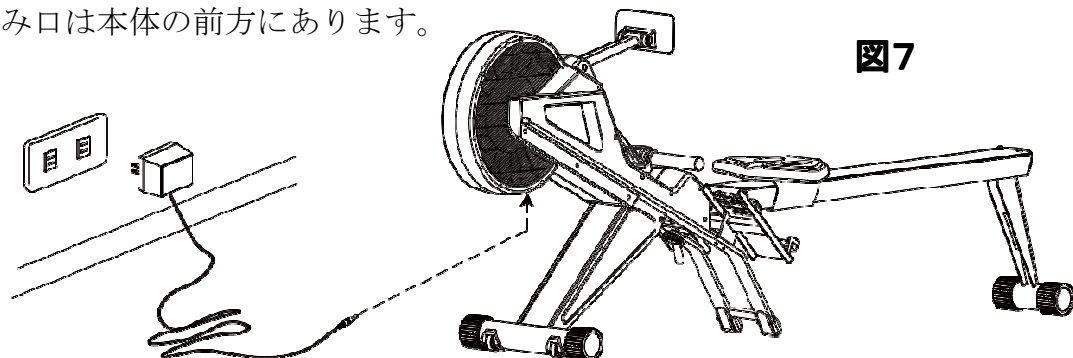


図7

折りたたみ方法

※怪我をするおそれがありますので、2人で作業を行ってください。

- ① 本体の裏側にあるノブ(A4)を緩め引っ張ります。
- ② ノブが固定される位置までスライドポストを持ち上げます。
- ③ ノブをしっかりと締め付け固定してください。

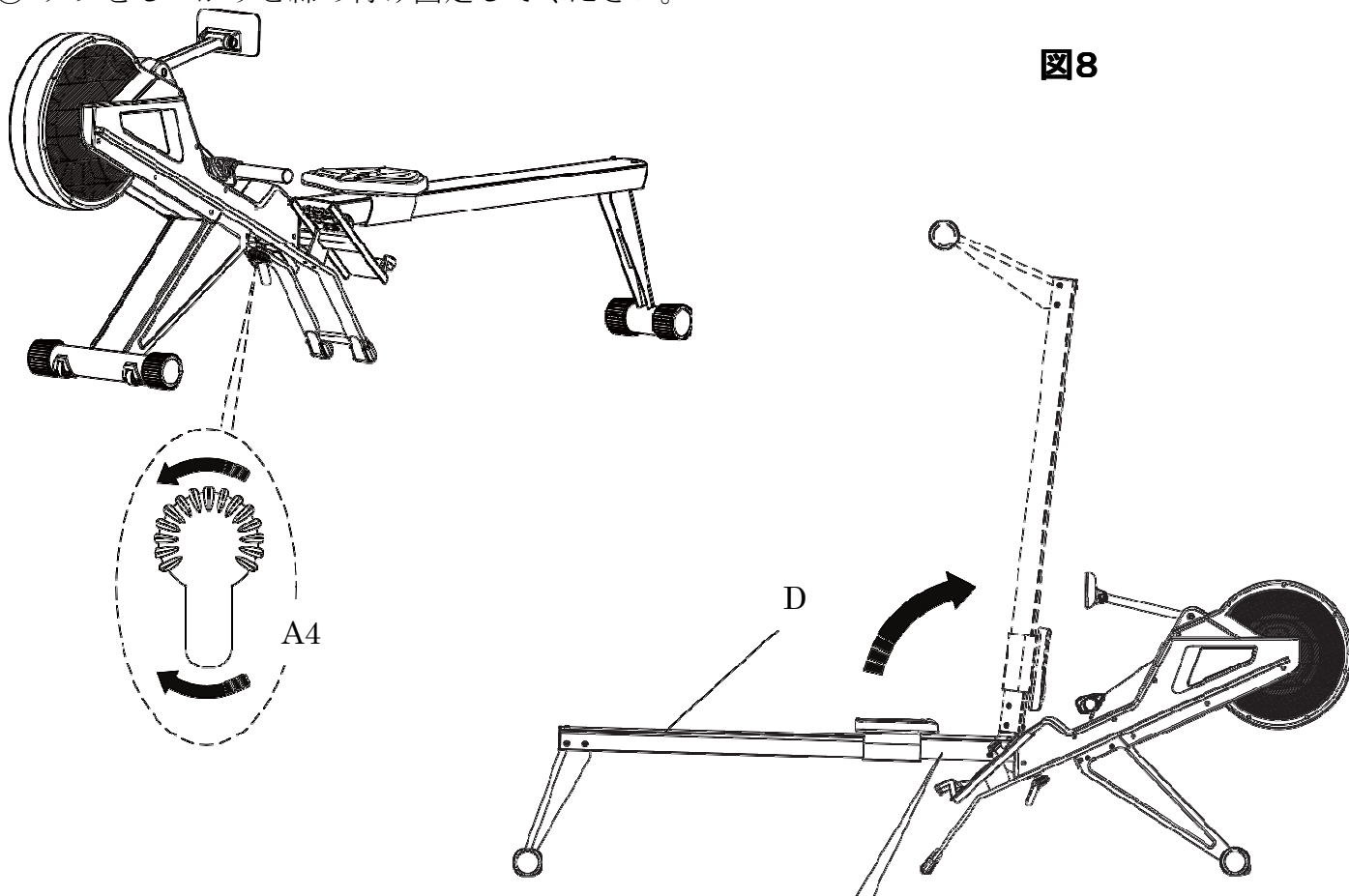
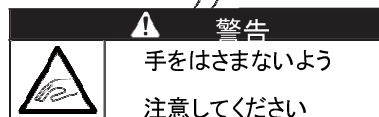


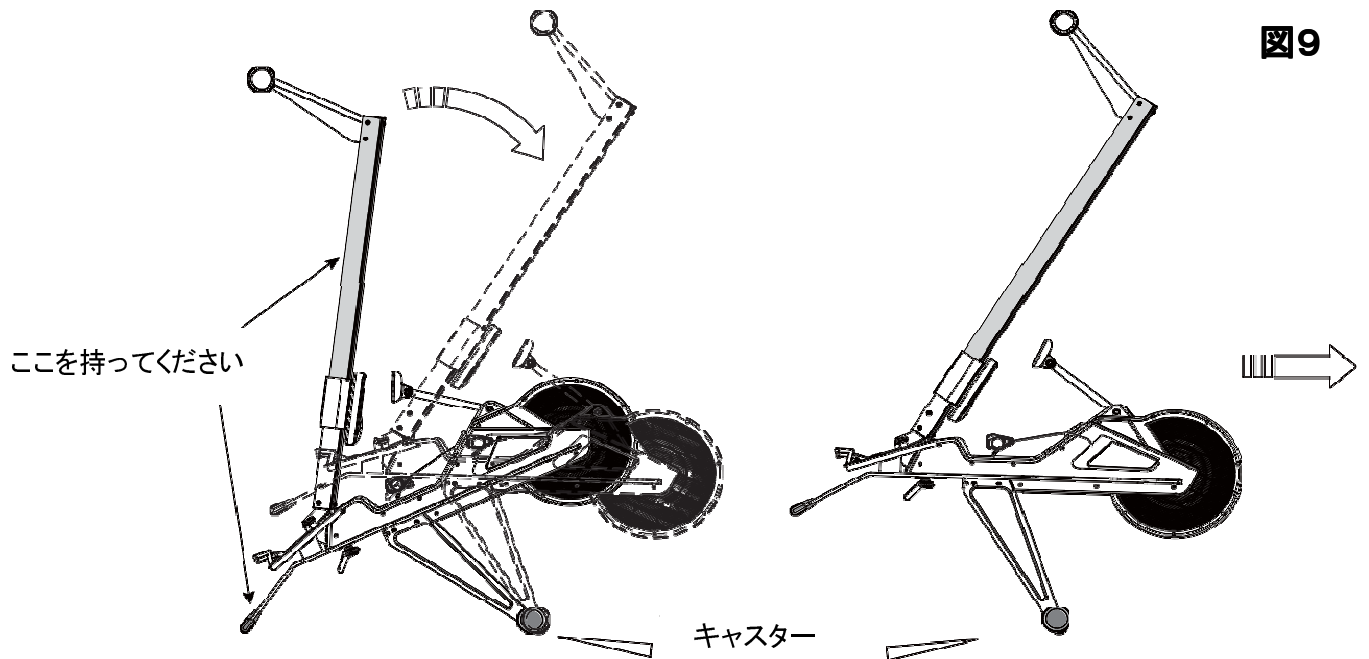
図8



本体移動方法・表示パネル位置調整について

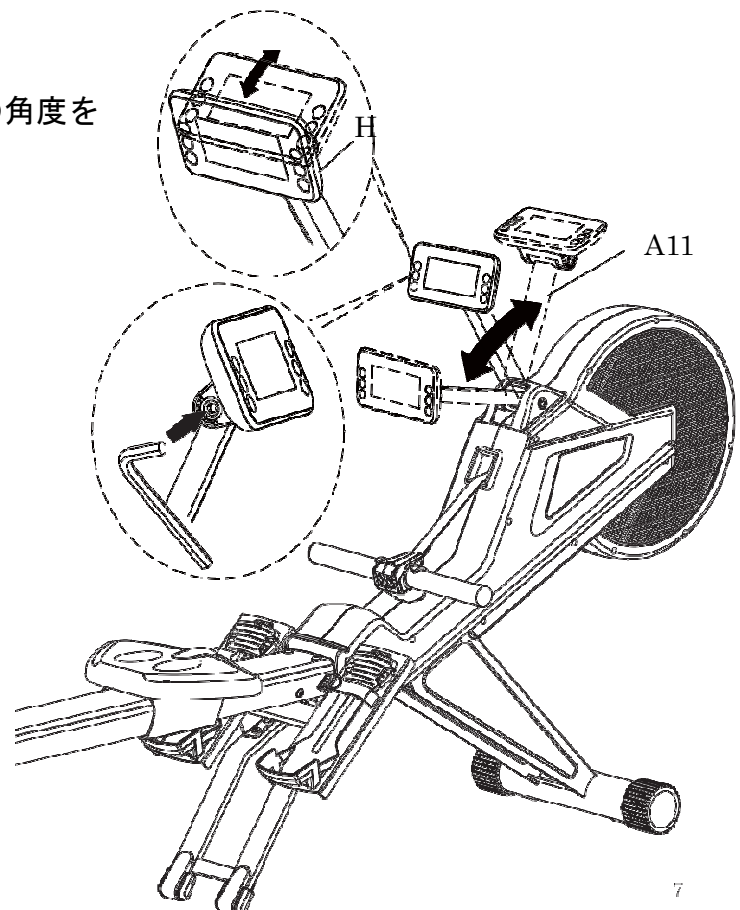
本体の移動方法

フロントスタンドに移動用のキャスターがついています。
本体を折りたたんだ状態で図9のように本体下部にある持ち手とスライドポストを持っていただくとキャスターで簡単に移動させることが可能です。



表示パネルの角度調整方法

付属の工具(アーレンキー)を使ってパネルの角度を調整することができます。



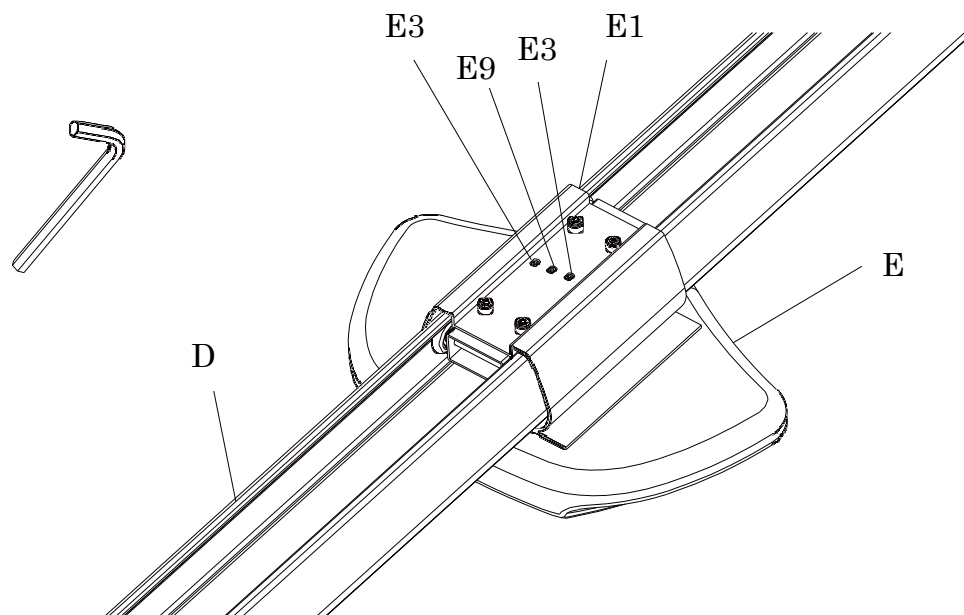
サドルのストローク調整・電池交換について

サドルのストロークの重さ調整方法

サドルの裏にボルトが3本(E9×1本、E3×2本)あります。まず、真ん中のボルト(E9)を緩め、それから残りの2本のボルト(E3)をそれぞれ締めるか緩めるかで調整することができます。

調整が終わったら真ん中のボルトを締めます。

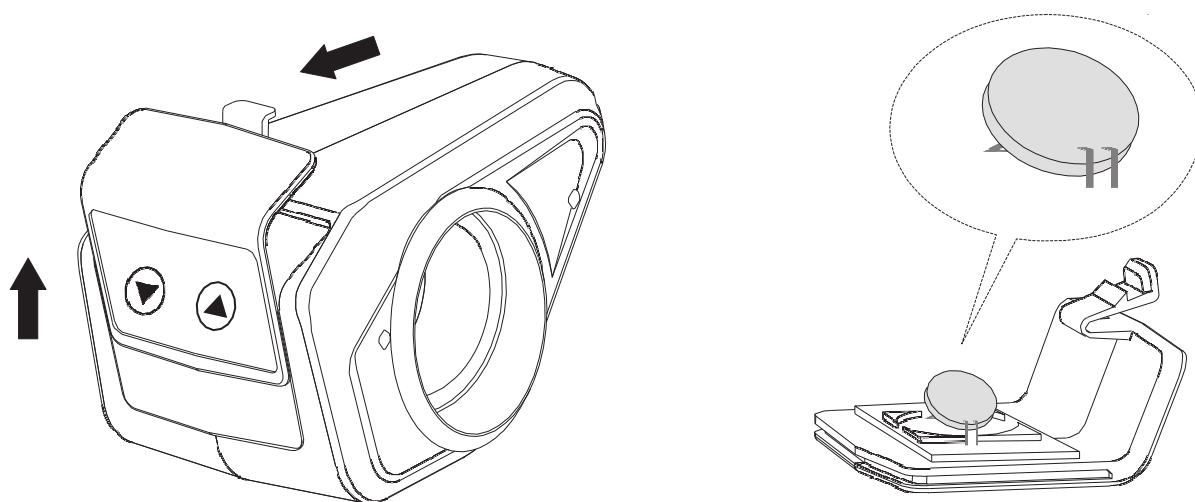
※左右の2本のボルト(E3)は緩めすぎるとガタつきの原因になりますし、締めすぎるとサドルの動きが悪くなる恐れがありますのでご注意ください。



負荷調整リモコンの電池交換

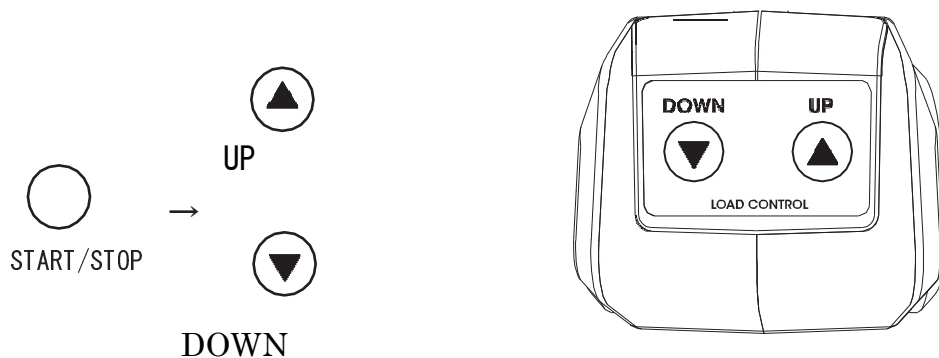
ロープを引くハンドルバーに負荷調整ができるリモコンが付いています。

電池を交換するには、リモコンをボタン側から押し上げるようにすると電池カバーがはずれます。



負荷調整について

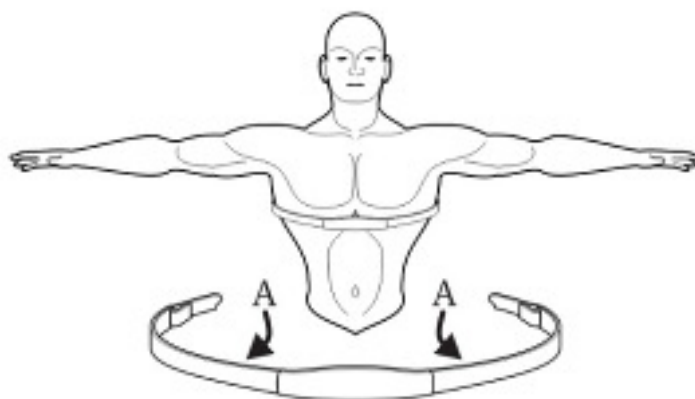
パネルの START/STOP ボタンを押し運動を開始してから負荷を調整します。
パネルでも調整できますし、ロープを引く手元のリモコンでも調整が可能です。
負荷はレベル1～レベル16の16段階あります。



脈拍測定について

脈拍はオプションの「ワイヤレス脈拍チェストベルト」を使用します。

チェストベルトは下図のように直肌の胸の位置に装着して使用します。



※表示されない場合は、取り付け位置を調整していただくか、水で少し湿らせてください。

表示パネルの使用方法について



●表示の説明

WATTS	ワット数(運動量)を表示します。表示範囲：0～999
CALORIES	現在の消費カロリーと1時間あたりの消費カロリーを表示します。 表示範囲：0～9999kcal 設定範囲：0～9990kcal
METERS	運動距離を表示します。 表示範囲：0～99900m
PULSE	1分間あたりの脈拍を表示します。 表示範囲：0、30～230bpm
TIME / 500M	現在のスピードで500m進むのにかかる時間を表示します。 時間は6秒ごとに測定されます。 表示範囲：0～99分00秒
SPM	1分間あたりのストローク数を表示します。 表示範囲：10～99回
LOAD	負荷レベルを表示します。 設定範囲：1～16
STROKES	合計のストローク数を表示します。 表示範囲：0～9999回 ※表示パネルが消えるか電源プラグを抜いた場合、数値がリセットされます。
TIME	合計の運動時間を表示します。
MANUAL	マニュアルモードを選択します。
PROGRAM	12種類のプログラムモードから選択します。
H.R.C.	ハートレートモードを選択します。
RACE	コンピューターと競争するモードです。
USER	ユーザーが自分で運動メニューを決めるモードです。

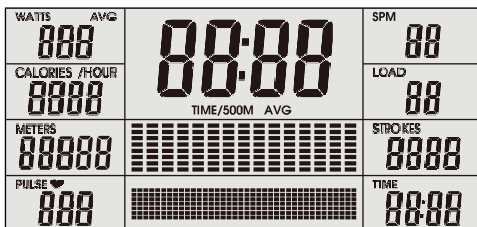
●ボタンの説明

UP	数値を上げたり、項目を選択したりします。
DOWN	数値を下げたり、項目を選択したりします。
ENTER	項目を決定します。
RESET	2 秒間長押しで表示パネルをリセットします。 設定した値をリセットします。 運動後、メイン画面に戻ります。
START / STOP	運動を開始・停止します。
RECOVERY	運動直後と回復後の脈拍を比較し評価します。

●使用手順

① 電源を入れます

AC アダプターを差し込むと電源が入り、「ピー」と音が鳴りパネルが 2 秒間全表示されます。その後、トレーニングのモード設定に入ります。



② モード選択をします

トレーニングモード設定では MANUAL モードが最初に表示されます。UP ボタン・DOWN ボタンでモード選択を行い、ENTER ボタンで決定します。

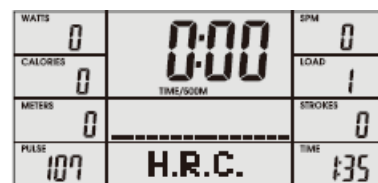
各モードは「MANUAL → PROGRAM → H.R.C. → RACE → USER」の順で切替わります。



Picture 2



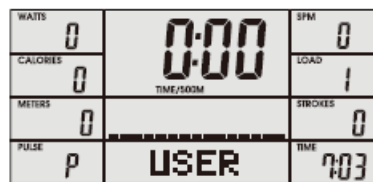
Picture 3



Picture 4



Picture 5



Picture 6

③ MANUAL(マニュアル)モード

1. メインメニュー画面で START/STOP ボタンを押すとマニュアルモードが開始されます。
2. モード選択画面でマニュアルモードを選択し決定しても開始されます。
3. UP ボタン/DOWN ボタンで「時間」「距離」「消費カロリー」「脈拍」の目標値を設定し ENTER ボタンで決定します。

※「時間」と「距離」は同時に設定できません。どちらか一方のみ設定可能です。

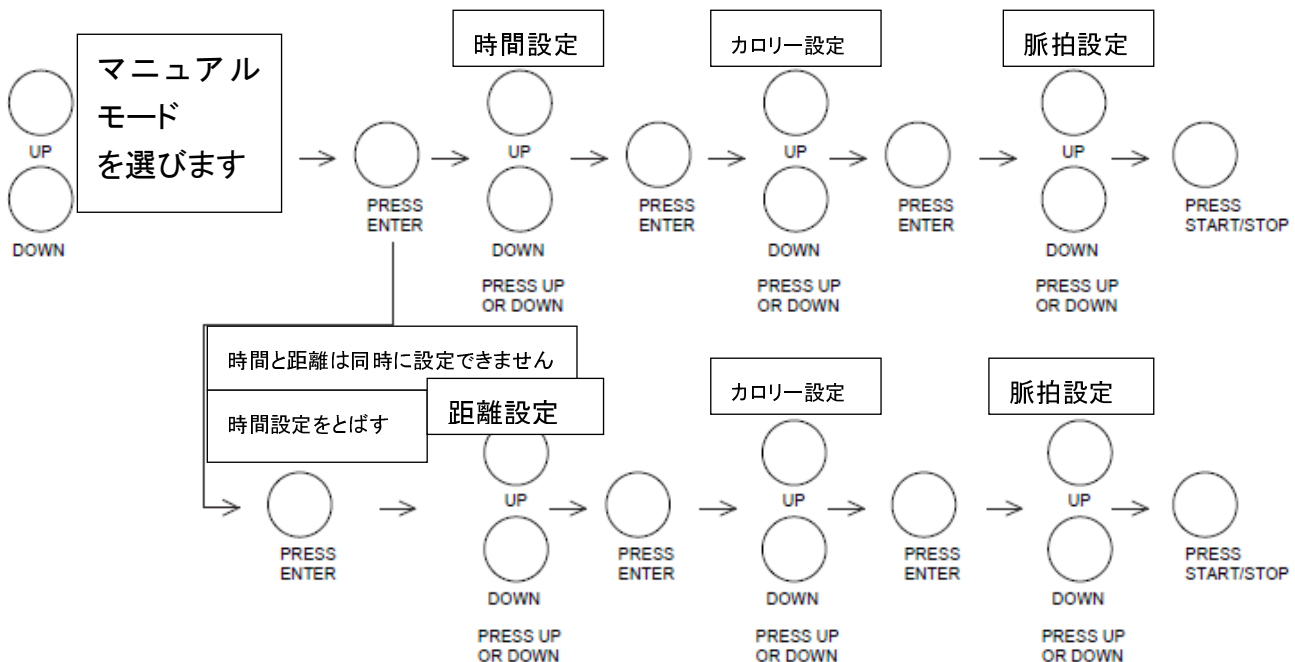
- START/STOP ボタンで運動を開始します。運動を開始すると目標値のカウントダウンが始まります。負荷レベルを1～16から設定します。
- 設定した目標値のいずれかが0になったら、パネルが止まりアラームが8秒間鳴ります。いずれかのボタンを押すとアラームは止まります。
- 運動中に START/STOP ボタンを押すと一時停止になります。「WATT」と「TIME/500M」は平均値が表示されます。
- リセットボタンでメイン画面に戻ります。

WATTS	0	0:00 TIME/500M	SPM	0
CALORIES	40		LOAD	1
METERS	0	STROKES		0
PULSE	78	MANUAL		TIME 3:00

Picture 7

WATTS	0	0:00 TIME/500M	SPM	0
CALORIES	32		LOAD	1
METERS	0	STROKES		0
PULSE	70	MANUAL		TIME 1:53

Picture 8



④ PROGRAM(プログラム)モード

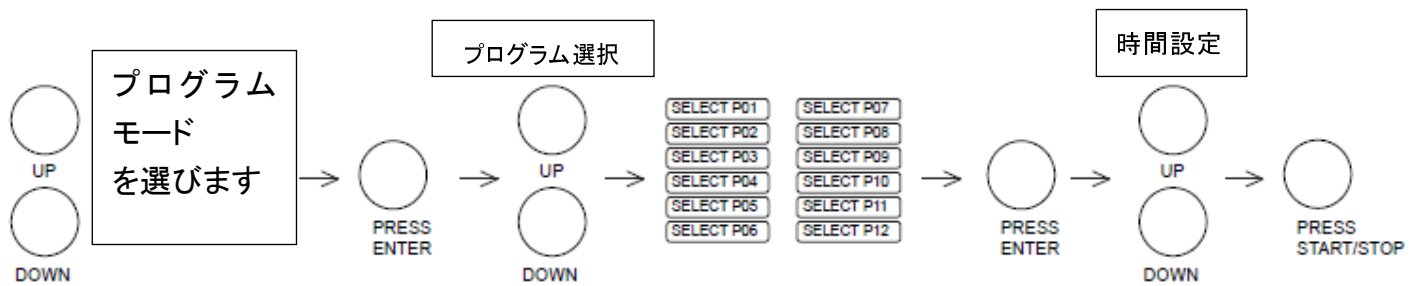
- プログラムモードを選択し決定します。
- プログラムを「P1～P12」から選択し決定します。(Picture9)
- 「時間」を設定します。(Picture10)
- START/STOP ボタンで運動を開始します。運動を開始すると目標値(時間)のカウントダウンが始まります。負荷レベルを1～16から設定します。
- 目標値(時間)が0になったら、パネルが止まりアラームが8秒間鳴ります。いずれかのボタンを押すとアラームは止まります。
- 運動中に START/STOP ボタンを押すと一時停止になります。「WATT」と「TIME/500M」は平均値が表示されます。
- リセットボタンでメイン画面に戻ります。

WATTS	0	0:00 TIME/500M	SPM	0
CALORIES	0		LOAD	1
METERS	0	STROKES		0
PULSE	P	PROGRAM		TIME 0:00

Picture 9

WATTS	0	0:00 TIME/500M	SPM	0
CALORIES	0		LOAD	1
METERS	0	STROKES		0
PULSE	P	PROGRAM		TIME 1:00

Picture 10



⑤ H.R.C.(ハートレート)モード (このモードはオプションの「脈拍チェストベルト」を使用するモードです)

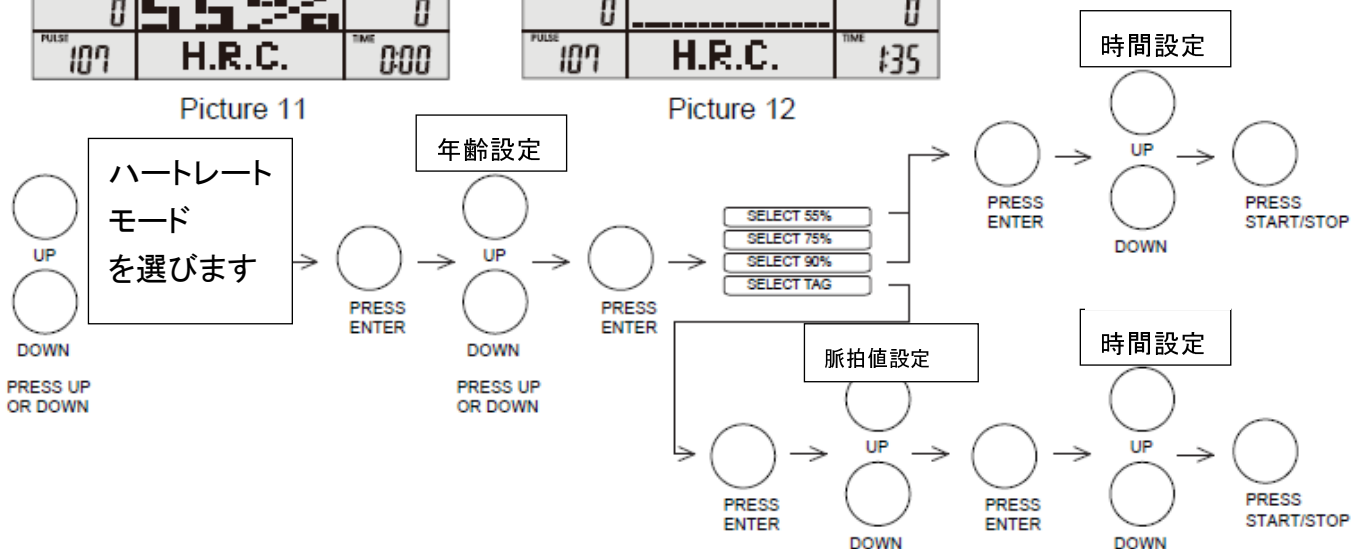
1. ハートレートモードを選択し決定します。(Picture4)
2. 年齢を設定し決定します。(初期設定: 25)
3. 脈拍の目標値を「55%」「75%」「90%」「TAG(お好み設定)」から選択し決定します。
目標脈拍値は「55%=107bpm」「75%=146bpm」「90%=175bpm」「TAG=100bpm」が初期設定です。
「TAG」を選ぶと、脈拍画面の「100」が点滅します。UP ボタン/DOWN ボタンで 0、30~230 の間で設定可能です。
4. 時間を設定します。(Picture12)
5. START/STOP ボタンで運動を開始します。運動中はユーザーの運動状況に応じて自動で負荷レベルを調整します。
6. 目標値(時間)が 0 になったら、パネルが止まりアラームが 8 秒間鳴ります。いずれかのボタンを押すとアラームは止まります。
7. 運動中に START/STOP ボタンを押すと一時停止になります。「WATT」と「TIME/500M」は平均値が表示されます。
8. リセットボタンでメイン画面に戻ります。

WATTS	0	0:00	SPM	0
CALORIES	0	TIME/500M	LOAD	1
METERS	0	5.5	STROKES	0
PULSE	107	H.R.C.	TIME	0:00

Picture 11

WATTS	0	0:00	SPM	0
CALORIES	0	TIME/500M	LOAD	1
METERS	0	-----	STROKES	0
PULSE	107	H.R.C.	TIME	1:35

Picture 12



⑥ Race(レース)モード

1. レースモードを選択し決定します。(Picture5)
2. 「SPM(初期設定: 10)」と「距離(初期設定: 500)」を設定します。(Picture13)
3. START/STOP ボタンで運動を開始します。ユーザーとコンピューターの状況が表示されます。
4. ユーザーかコンピューターのどちらかが設定距離に到達したらパネルが止まり、「USER WIN」か「PC WIN」と表示されます。(Picture14)
アラームが 8 秒間鳴ります。いずれかのボタンを押すとアラームは止まります。

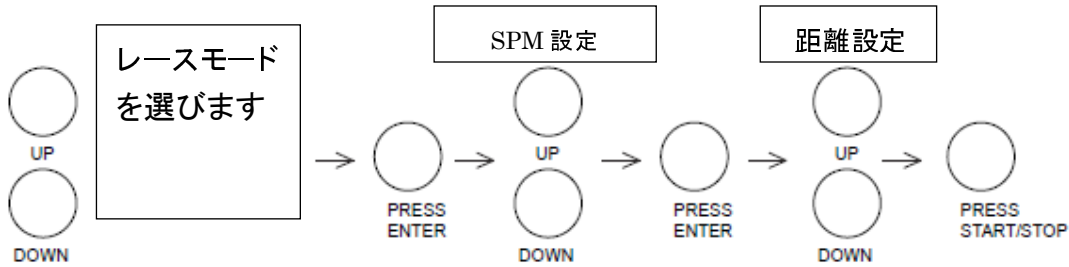
5. 運動中に START/STOP ボタンを押すと一時停止になります。「WATT」と「TIME/500M」は平均値が表示されます。
6. リセットボタンでメイン画面に戻ります。



Picture 13



Picture 14

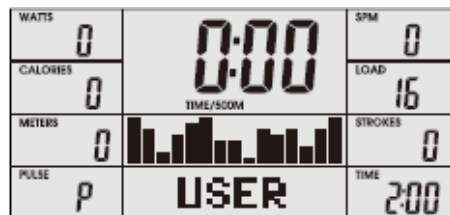


⑦ USER(ユーザー)モード

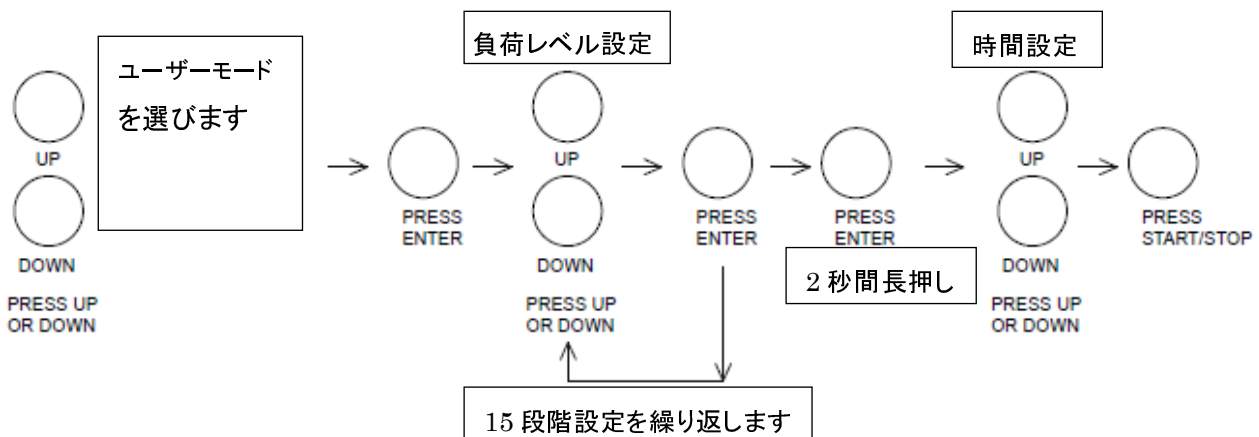
1. ユーザーモードを選択し決定します。(Picture6)
2. ユーザーモードは 15 段階になっており、各段階ごとの負荷レベルを設定します。ENTER ボタンで次の段階の負荷レベルの調整に移ります。
負荷レベルの調整が終わりましたら ENTER ボタンを 2 秒間長押しで設定を完了します。
3. 時間を設定し決定します。(Picture15)
4. START/STOP ボタンで運動を開始します。運動中にも負荷レベルの調整が可能です。(Picture16)
5. 目標値(時間)が 0 になったら、パネルが止まりアラームが 8 秒間鳴ります。いずれかのボタンを押すとアラームは止まります。
6. 運動中に START/STOP ボタンを押すと一時停止になります。「WATT」と「TIME/500M」は平均値が表示されます。
7. リセットボタンでメイン画面に戻ります。



Picture 15



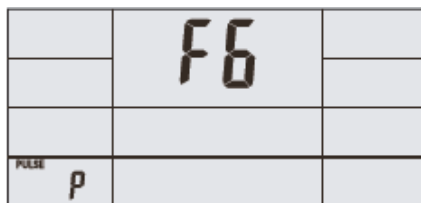
Picture 16



- ⑧ RECOVERY(リカバリー)モード (このモードはオプションの「脈拍チェストベルト」を使用するモードです)
1. 脈拍値がパネルに表示されたら RECOVERY ボタンを押し、リカバリーモードを開始します。
 2. 「TIME」と「PULSE」以外の表示が消え、60秒間の測定が始まります。(Picture17)
 3. 運動終了後すぐの脈拍数と、60秒後の脈拍数を比較し脈拍数の回復力を[F 1]～[F 6]で評価し、表示します。回復能力は[F 1]が最も優れ、[F 6]が最も劣ります。(Picture18)
 4. RECOVERY ボタンを押すとメイン画面に戻ります。



Picture 17



Picture 18

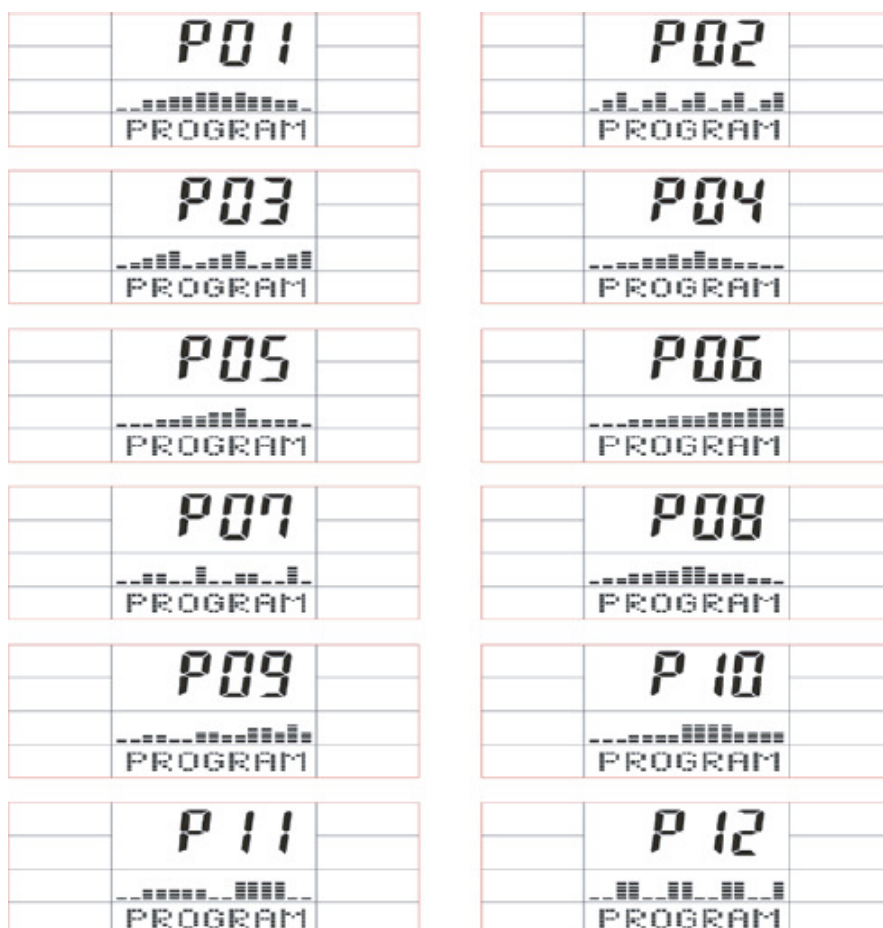
1.0	OUTSTANDING
1.0 < F < 2.0	EXCELLENT
2.0 < F < 2.9	GOOD
3.0 < F < 3.9	FAIR
4.0 < F < 5.9	BELOW AVERAGE
6.0	POOR

運動直後と回復後の脈拍数を比較することは、運動能力を手軽に判定する有効な方法です。

リカバリー(体力評価)は、トレーニングを行った後の1分間のクールダウンでどこまで安静時の脈拍数に近づくことができるかを評価する手段となります。

運動を定期的に継続していくと評価が向上します。

●プログラムモード プログラム一覧



トレーニングについて

運動の目的・効果を正しく理解して、健康で快適なトレーニングを始めましょう。

運動には無酸素運動(アネロビクス)と有酸素運動(エアロビクス)があります。

無酸素運動は短距離走や重量上げなど瞬発力や短い時間に大きな力が要求される運動で、筋力がアップします。一方、有酸素運動は自転車・ジョギング・水泳など全身の持久力が主体で、酸素を体内にどんどん取り入れることで、循環器・呼吸器機能が向上し、健康の維持に大きな効果があります。

また、15分以上の運動を継続することで、脂肪燃焼が促進されダイエットに効果的です。

【目的】

- ①体力の維持・向上
- ②精神的ストレスの解消
- ③肥満解消・シェイプアップ

(目的別トレーニングの目安)

目的	項目	内容
①健康増進トレーニング	運動の頻度	1週間に3~5回以上 / 1回20~30分程度
	目標運動強度	推定最大脈拍数の60~75%となるように運動する
②肥満対策トレーニング	運動の頻度	1週間に3~7回以上 / 1回20~60分程度
	目標運動強度	推定最大脈拍数の55~70%となるように運動する
③心肺機能強化トレーニング	運動の頻度	1週間に3~5回以上 / 1回20~60分程度
	目標運動強度	推定最大脈拍数の70~85%となるように運動する

$$\text{推定最大脈拍数} = 220 - \text{年齢}$$

上記の表より、目的にあった運動を選択し、「運動の頻度」と「目標運動強度」の条件を満たすように運動してください。

上記は一般的なトレーニングの目安です。運動する人の健康状態・体力・運動経験などにより個人差があります。健康状態やその日の体調に合わせて、無理をせずマイペースで行ってください。

また、運動の前後には十分なウォーミングアップとクールダウン(ストレッチングなど)を行いましょう。

トラブルが起きたら・製品仕様について

ご使用中に異常が発生した場合は、まず次の点をチェックしてください。
それでもトラブルが解消されなければ、お求めの販売店・代理店までご連絡ください。

トラブル内容	対処方法	手順参照
●電源 ON にならない (表示がない・カウントしない)	本体へのコードをしっかり差込んでください。	P.12 参照
	ACアダプターの差し込みを確認してください。	P.12 参照
●心拍数が測定できない	オプションの脈拍チェストベルトをご使用ください。	P.15 参照

製品仕様について

製品の仕様および外観などは改良のために、予告なしに変更することがあります。

品名	SPORTOPローイング
品番	FR-700Plus
形式	マグネット負荷方式ローイング
カラー	ブラック×シルバー
負荷方式	マグネット負荷方式
本体サイズ	272(L) × 52.5(W) × 110(H) cm
材質	スチール鋼管、ABS/PP/PU 樹脂
使用電源	AC100V
使用体重制限	120kg
本体重量	52.4kg
使用室内環境	温度:6°C~40°C 湿度:80%以下
原産国	台湾

保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

製 品 名	SPORTOPローイング
製 品 番 号	FR-700Plus

お買い上げ日： 年 月 日

保証期間はお買い上げの日から1年です。

お名前

ご住所

電話番号

ご購入後、ご記入願います。ご記入のない場合、保証が受けられない場合があります。

- 取扱説明書の注意に従った正常な使用環境と使用状況で、万一品質上の不具合が発生した場合において、消耗品を除き、納入後1年間を原則として販売店が保証修理致します。
- 保証修理は補修または部品の交換により実施し、これにより取り外された不具合部品は株式会社フジモリの所有物となります。
- 出張修理の場合は、出張費を請求する場合がありますので予めご相談下さい。
- 保証修理をお受けになる場合には、製品保証書の提示が必要となります。
- 保証期間内においても、保証書の提示がない場合は、無償修理の対象になりませんので保証書は大切に保存して下さい。
- 保証期間内であっても、次の場合は有償にての修理となります。
 - 誤用、乱用及び取扱の不注意によるもの
 - 弊社が認めた技術者以外によって修理や改造をしたとき。
 - 火災、水害、地震、落雷及びその他の災害、戦乱、争乱によるもの。
 - 部品の通常の摩耗、又は、経年劣化
 - 運送途中、備え付け時と使用時に生じた傷、色の退色、及び外見上の変化。
 - 機能に影響のない感覚的現象（音、振動など）
- その他の保証対象免責事項
 - 運送、販売の作業によって引き起こされた費用（備え付け、除去にかかる費用）
 - 取扱説明書の遵守に従わない使用によって起きたあらゆる損害。
 - 保証期間内中でも使用できなかった事による期間損失等の費用。
- 当社の全責任は、全ての環境下で本体の出荷価格を超えることはありません。なお、製造物責任法にかかる係争については、富山地方裁判所高岡支部を第1審裁判所と致します。
- 製品は日本国内の屋内施設の使用に限定し、この保証規定は日本国内の使用に限り有効です。

販売店



— Fitness & Bicycle —

株式会社フジモリ

〒933-0831 富山県高岡市若富町 186

TEL.0766-21-0958 FAX.0766-21-0957

E-mail fitness@fujimori-r.com